

DMATについて

企画課 岡部 伸行

東日本大震災後、平成23年に当院として2隊目のDMAT班が編成された。編成以降は静岡県対策本部と中心とし、東海地震を想定した訓練、静岡空港・海上保安庁・海上自衛隊等との連携訓練等の実施をしてきた。

東海地震が発生した際、当院は災害拠点病院と

して、県外からのDMAT隊や日赤救護班の受入や担当を調整する為、今年度院内災害組織体制を改正し、DMAT班の編成をした。今後は病院としてDMATへの理解が重要と考える。

今回はDMATの目的や活動、県対策本部との連携及び活動内容を発表する。

人間ドック受診者へのアンケート調査

健診部 相川 昭 杉浦真理子

I. 目的

当健診センターが多くの受診者に利用して頂く為には、受診者の評価や要望等を把握し、ニーズにあったサービスの向上に努めることを目的とする。

II. 対象

人間ドック受診者

第1回 平成25年7月16日から8月9日まで

男性 290名 女性 83名

第2回 平成25年11月1日から11月29日

男性 192名 女性 119名

合計684名にアンケート調査を実施。

III. 方法

人間ドック受診後、性別・年齢・受診歴・問診票等事前送付の資料・スタッフの応対（事務、看護師、各検査技師）・医師の面談・検査別待ち時間・施設設備・昼食等をそれぞれ1点から5点の5段階で評価していただき、その他ご意見・ご要望などフリーコメントで回答をしていただいた。

IV. 結果

アンケートの回収率は第1回 84.9% 第2回

74.1%でした。

対象者の年代別では、第1回、2回合わせて 30歳未満0.3%・30歳代8.1%・40歳代32.9%・50歳代34.7%・60歳代18.7%・70歳代4.6%・80歳以上0.7%でした。

アンケート項目別の点数では、資料・問診票・結果票3.7~4.0、スタッフの応対4.2~4.6、医師の面談3.9~4.2、検査別待ち時間3.1~3.7、施設・設備3.7~4.0、昼食3.4~3.6でした。また、今後も利用したい94.6%、知人に紹介したい72.1%、選ばれた理由1.今までのデータが残っている28.6%、2.職場で指定されている17.8%、3.職場や自宅から近い16.2%であった。

要望事項のなかで、トイレの男女兼用は抵抗がある、MDL後の下剤を飲む時の水をミネラルウォーターが良い等、改善できる項目は改善を実施した。

V. 考察

検査別待ち時間の評価が低く、受付時間の検討を要する（時差受付）。

今後もアンケート調査を継続し、改善を行い受診者サービスの向上に取り組み、なお一層リピータ確保等に努める。